



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2013年5月号 No.334

小鳥の森で観察してみよう 23

ノスリ

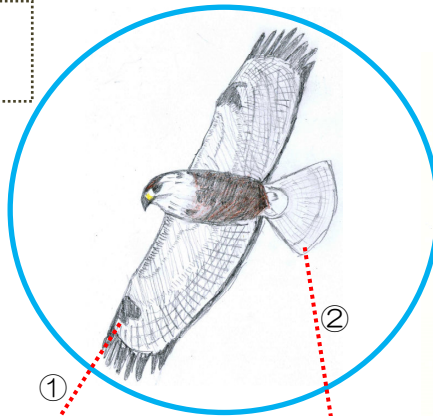
分類：タカ科

大きさ：約 60cm

生態：低い山から、やや高い山の林で子育てをします。肉食で、ネズミやカエル、昆虫、鳥などをつかまえます。

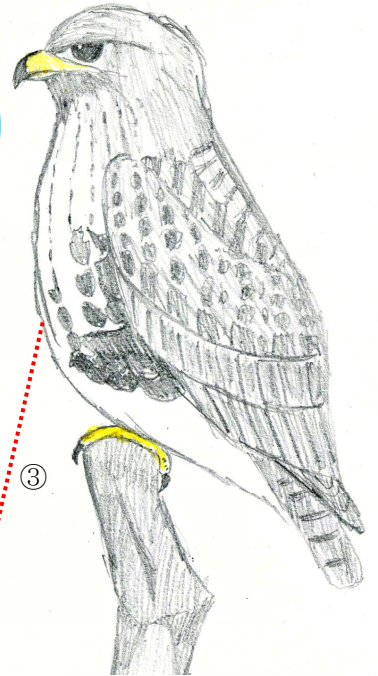
小鳥の森での観察：

道や広場のわきの木でカエルやネズミなどをさがす姿を見かけることができます。1年中観察することができます。



①飛んでいる時には、翼に茶色い目のようなもようが見えます。
②飛んでいる時に、尾羽はおうぎの形に見えます。

③お腹には、茶色いはん点やおび状のもようがあります。



安田 竣

今回のイラストは、安田竣さんが描いてくれました。



5月の自然予報



サンコウチョウの季節がきます

夏鳥のサンコウチョウが、毎年5月のはじめごろ、小鳥の森にやってきます。全国的に年々数が少なくなりつつある野鳥ですが、センター周辺には毎年姿を見せています。昨年は5月6日にはじめて確認できました。今年はいつ頃見ることができるでしょうか。



サンコウチョウ：
尾羽が長く、目と口ばしが青いのが特徴です。
鳴き声を言葉で表すと「つき（月）・ひ（日）・ほし（星）・ホイホイホイ」と鳴くことから、漢字で「三光鳥」と書きます。

ヤマガラの子立ち予想

卵を6個産み、4月4日からあたためはじめました。そしてヒナが生まれたのは、4月16、17日でした。ヒナが巣立ちをむかえるのは約2週間後です。5月のはじめごろには、センター周辺で巣立ったばかりのヒナを見かけるかもしれません。

4月17日の様子





4月の自然



満開のサクラ

福島市内で、4月5日にサクラ（ソメイヨシノ）が開花しました。小鳥の森も5日に開花し、9日に満開をむかえました。

サクラの木には、冬から開花前まで、花芽をウソが食べに来ていましたが、開花するとメジロやヒヨドリなどが花の蜜（みつ）をすいに来ていました。

ヒヨドリ



メジロ



小鳥の森でみい〜つけた⑤

チョウのなかには、冬に成虫（チョウの姿）ですごし、春にあらわれるものがあります。春の初めに見かけるルリタテハやテングチョウがそうです。これらは、去年の秋にうまれたものが成虫の状態です。土手のくぼみや落ち葉の中、木の皮のすきまなどで冬をこし、春を待ちます。

他にみることのできる、キタテハやウラギンシジミなども、成虫のままで冬をこします。

テングチョウ



ルリタテハ



出前講座報告

4月3日にゆかり学童クラブに出前講座に行ってきました。内容は春の森のお話と葉っぱスタンプでした。春の森のお話では、はじめて知る森のあれこれに子供たちはおどろいていました。葉っぱスタンプは、自然の葉っぱに絵の具をぬり、紙にスタンプをして、たくさん葉の付いた木を作りました。みんな楽しそうに作っていました。



自然ウォッチング報告

本年度よりショートフィールドトリップの名称が「自然ウォッチング」と変わりました。

4月7日に第一回目の「春に咲く花を探そう！」をおこないました。

あいにくの雨でしたが、シュンラン、ショウジョウバカマ、満開を迎えたカタクリなど春の花を観察でき、参加者は楽しく見ることができました。



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

※小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f.kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信「しじゅうから」2013年5月号No.334/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま